

八幡浜港に、赤と白の煙突の様な船が停泊してすっかりなじみの風景となっています。目に見えて動きだした八幡浜市港湾振興ビジョンの事業費について、考えてみましょう。

(単位:千円)

国	県	市		民間	合計
		単 独	起 債		
33%	16%	7%	34%	10%	100%
4,353,167	2,121,749	874,584	4,421,500	1,370,000	13,141,000

総額131億円の内訳とは……

八幡浜市の負担分は上の表から約53億円のように見えるが……

起債には利子も発生するし、交付税として国から補助される部分も有ります。

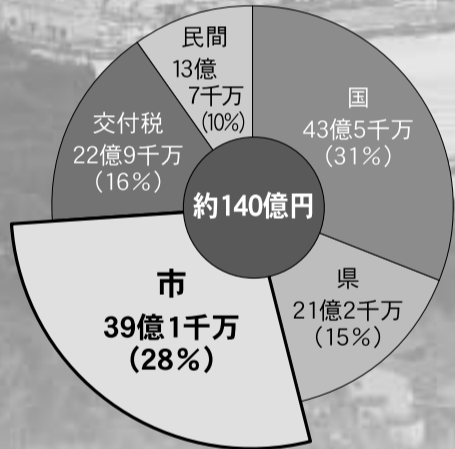
起債とは……

地方公共団体が資金調達のために負担する債務であって、その返済が一会計年度を超えて行なわれるものを地方債といい、地方債を起こすことを起債という。

交付税 $(4,421,500 + 901,000) \times 43\% = 2,288,700$ (単位:千円)
 市 $874,584 + 4,421,500 + 901,000 - 2,288,700 = 3,908,384$

国	県	市	交付税	民間	合計
31%	15%	28%	16%	10%	100%
4,353,167	2,121,749	3,908,384	2,288,700	1,370,000	14,042,000

※一般公共事業債の交付税率は元利償還の43%とされています。



事業費131億円に利子の9億円を足した140億円の内、市の実質負担額は39億1千万円という事になります。

全体事業費の28%という事になるので約1/4のお金で八幡浜市港湾振興ビジョンが出来上がっている!! といえます。

しかしながら、国・県の補助金、交付税にしても、もともとは税金です。さらに、起債の償還は平成48年まで続く見込みです。だからこそ、本当に意味のある事業にしなければならないのです。

「官民一体」とよく言われますがある意味、行政がうまく資金を調達して用意したキャンバスに市民の知恵とパワーを結集してスケッチし色彩を施していく!!

子供達や孫達、次世代に素晴らしいものを残すためにも……限りない資源があるとするならば、それは人間の知恵であるから!!

編集後記

■スターは作られるもの、ヒーローは生まれてくるものと言った人がいます。スターはまわりからスポットライトを浴び、飾りたてられた感じがしますが、ヒーローとかヒロインはその人が生きていく上で培ってきたエネルギーが、ある時点で一気に開花する様に思います。

■ワールド・ベースボール・クラシックにおけるイチロー選手にしても、トリノオリンピックの荒川選手にしてもヒーロー、ヒロインであると思います。

■絶体絶命に追いやられた日本チームにおいて、士気を鼓舞し、チームを引っ張っていったイチロー選手の姿に多くの日本人が感銘を受けた事でしょう。そして、世界になった時にチーム一丸となってグラウンドに掲げた日の丸の旗……

■度はオリンピック代表選手からはずされて味わった挫折の中から復活し、「荒川選手のイナバウアー」と賞賛される美しさの果てに掴んだ金メダル、その氷上で滑りながら身にまとった日の丸の旗……

世界の舞台で見ることができた同じ日の丸の旗に、今では忘れられようとしている愛国心や祖國愛といったものを感じる事ができました。

■愛国心、祖國愛の基にあるものは、地域愛であり、家族愛であると信じます。だから、家族愛が希薄になってしまえば、地域も日本もおかしくなってくるのはあたりまえの事なのでしょ……